



インターネットでの情報提供	
提供予定日	5月2日(金)

平成26年5月1日(木) 県政記者クラブ、可児記者クラブ配布資料		
担当課又は関係市町村等	担当	電話番号
商工政策課 亜炭鉱廃坑対策室	水野 昭人	内線 3039 直通 058-272-8359
御嵩町 亜炭鉱廃坑対策室	鍵谷 和宏	0574-67-2111 内線 2231
(公財) 岐阜県産業経済振興センター 経営支援部資金課	小川 博俊	058-277-1083

「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業」における 第1期地盤ぜい弱性調査（ボーリング調査）を開始します

南海トラフ巨大地震が発生した場合、御嵩町では亜炭鉱廃坑の崩壊による地表面の陥没が、住民の生命・財産に重大な影響を与えることが懸念されています。そのため、災害時に災害対策本部となる町役場及び主要避難所である隣接の小・中学校において、このたび第1期計画として地盤ぜい弱性調査（ボーリング調査）を開始します。

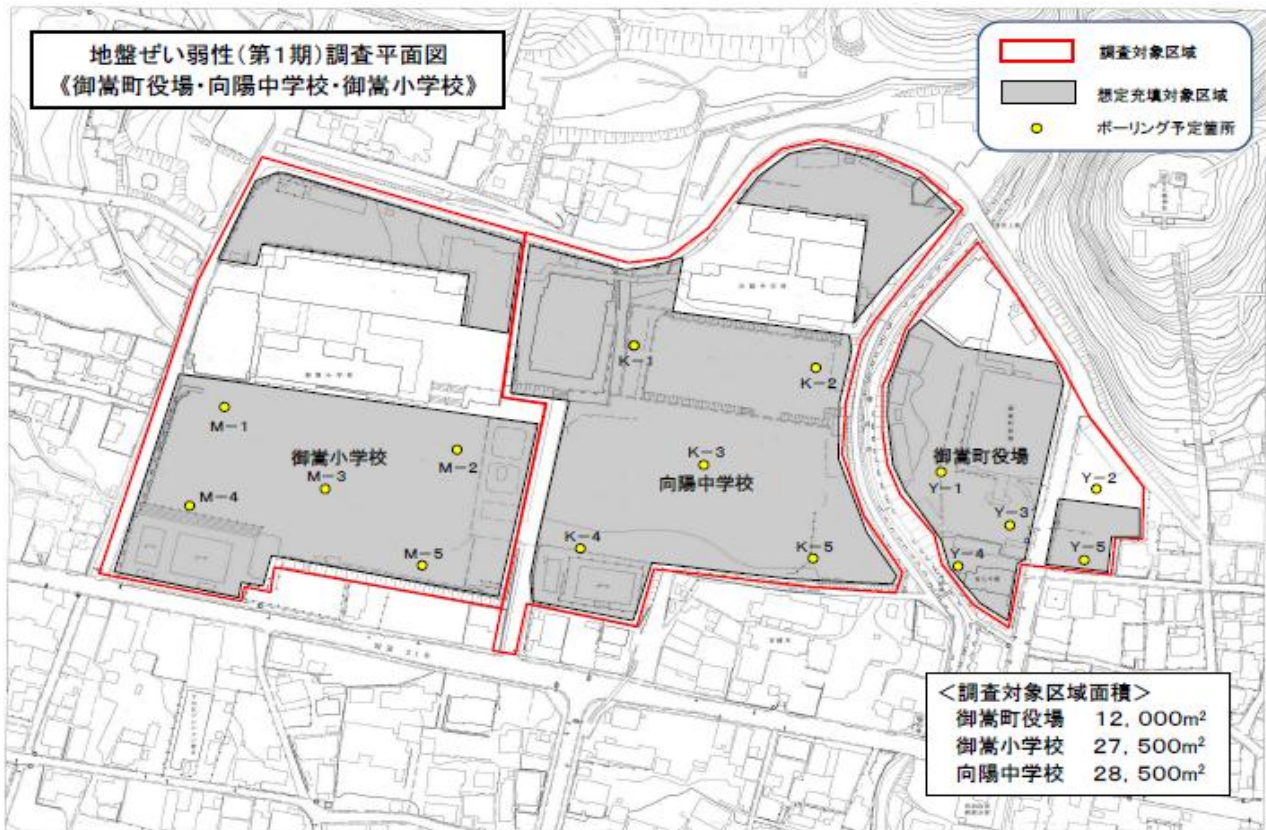
この調査は、平成25年度の国の補正予算による「南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業」を活用して、モデル市町村である御嵩町が実施するものです。

今回の調査結果により、地盤のぜい弱性が極めて高いと判断されると、引き続き御嵩町によって地下空洞の充てんなど予防的な防災工事が行われます。

なお、御嵩町内のその他の地域においても、順次、地盤ぜい弱性調査及び必要な防災工事が実施されます。

1 調査業務の概要

- (1) 発注者 御嵩町
- (2) 事業名 平成26年度南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業
地盤ぜい弱性（第1期）調査委託業務
- (3) 調査箇所 御嵩町 御嵩・中 地内
- (4) 調査内容 ボーリング調査（15箇所）、標準貫入試験、防災工事設計一式
- (5) 工期 5月2日 ボーリング調査開始 ～ 7月31日まで
- (6) 契約金額 約3千8百万円



2 その他

＜南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業について＞

①事業内容

南海トラフ巨大地震が発生した場合、大きな揺れが予想される旧亜炭採掘区域において、次の事業を実施

- 1 地盤ぜい弱性実地調査（ボーリング調査等を主体とした地質構造調査、防災工事設計）
- 2 防災対策工事（亜炭鉱採掘跡の空洞充てんなど）

②実施区域

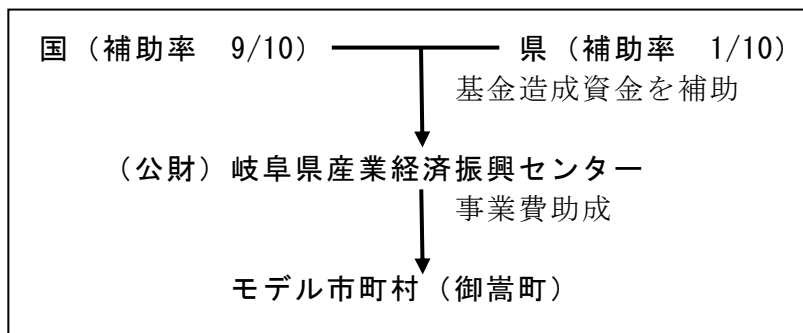
第1期計画地：御嵩町役場（災害対策本部）、御嵩小学校（町指定避難所）、向陽中学校（町指定避難所）

※第2期計画以降の実施予定地域は現在検討中です。

③事業費

全体事業費 4,444,440千円
（内訳 国：3,999,996千円＋県：444,444千円）

④南海トラフ巨大地震亜炭鉱跡防災モデル事業基金事業スキーム



⑤事業期間

平成29年3月まで

（ただし、それ以前に事業が終了した場合には、基金を解散する。）